

一般社団法人日本サンゴ礁学会  
2017/18 年度 代議員総会 議事録

1. 日時： 2017年11月24日金曜日 12時40分ー13時40分
2. 場所： 東京工業大学大岡山西8号館 W311室
3. 出席役員： (理事) 日高 道雄, 山城 秀之, 梅澤 有, 灘岡 和夫, 山野 博哉, 茅根 創, (監事) 鹿熊 信一郎, 野中 正法

4. 議事の経過の要領及びその結果

(1) 議長および議事録作成者の選出

互選により、議長に岡地 賢氏を、議事録作成者に久保田 賢氏を選出した

(2) 議決権総数の確認と議事の開始

出席代議員

議決権のある総代議員数	24名
出席代議員数	18名
委任状提出者数	3名
議決権総数	21名

以上のとおり、出席社員数が定足数に至ったことから、議長は開会を宣言し、下記のとおり議事に入った。なお、出席および欠席した代議員および事務局担当者は以下のとおりである。

出席者

Agostini Sylvain, 井口 亮, 磯村尚子, 梅澤 有, 岡地 賢, Casareto Beatriz, 菅 浩伸, 久保田 賢, 栗原晴子, 佐藤崇範, 鈴木倫太郎, 中村隆志, 中村 崇, 灘岡和夫, 樋口富彦, 藤村弘行, 山野博哉, 渡邊 敦

欠席者

(委任状あり) 浪崎直子, 深見裕伸, 藤田和彦, 湯山育子  
(委任状なし) 井龍康文, 渡邊 剛

(3) 第1号議案 2017/18年度事業計画(案)について

議長は、日高 道雄 会長に本件についての説明を求めた。会長は前日(11月23日)に開催された任意団体の総会で、一般社団法人への会員の移行が承認されたことの報告と謝礼を述べた後、資料に基づき説明し、その後質疑応答が行われた。

(質問:中村 崇 代議員)諸規定の整備に関する進捗状況を教えてほしい。

(回答:茅根 創 理事)定款細則は、代議員に十分情報を提供し、意見を聞きながら議論を進め、4月に開催予定の理事会で決定したいと考えている。代議員・役員選任規則に関して、選挙管理委員長の指名が遅れていたが、大会中に藤村弘行会員に引き受けていただいた。大会運営のルールについては、第20回大会および第21回大会の関係者との会を設置して検討を進めたいと考えている。

(質問:Agostini Sylvain 代議員)法人化後は、任意団体で開催されていた評議員会のように多くの参加者で議論する場がなくなった。この件について、どのように考えているか教えてほしい

(回答:灘岡 和夫 理事)理事会としても情報交換の仕組みが必要と考え、理事、幹事、各種委員会委員長および代議員を含むメーリングリストを設置して、十分な情報提供や意見交換を可能とする仕組みづくりについて検討を始めている。

(質問:佐藤 崇範 代議員)定款や規則の情報公開はどのようになっているか。

(回答:茅根 創 理事)学会ウェブを使って公開するよう広報・社会連携担当理事や事務局と検討を進めている。

以上の議論がなされ、満場一致をもって原案は承認された。

(4) 第2号議案 2017/18年度予算案について

議長は、久保田 賢 事務局長に本件についての説明を求め、質疑応答が行われた。

(追加説明：灘岡 和夫 理事) 予算案を見てお気づきのとおり、2017/18年度は単年度で200万円を超える赤字となっている。次年度以降は公開シンポジウムや税理士との契約費用等の削減が見込まれる。

(意見：岡地 賢 代議員) 現時点では会員が法人化したことのメリットを十分に感じていないように思われる。理事会には収支のバランスが取れるように経営を安定化する努力が求められると考えている。

(質問：中村 崇 代議員) 理事会の開催回数は何回か。また、理事会をインターネットの活用により遠隔開催するなどの工夫は検討しているか

(回答：灘岡 和夫 理事) 通常は11月に2回と9月に1回の計3回を想定しているが、本年度については検討事項が多いので、4月にも開催する予定となっている。11月22日に開催した第2回理事会でも遠隔会議について話題に上った。開催方法や費用などについて検討が必要と考えている。

(意見：久保田 賢 事務局長) 2017/18年度は、遠隔会議の費用は計上されていないが、委員が各地に散在している委員会で試行的に実施してみると、利点や欠点が見えてくると思われる。

(質問：菅 浩伸 代議員) 会議資料の第2号議案について、第1号議案へ予算額が記載された状態ですでに承認・可決されているのではないか。

(回答：久保田 賢 事務局長) 法人化により総会資料の様式が大きく変更され、各事業の予算総額が見にくくなったと判断して、記載した。次回以降は検討が必要だと考えている。

(意見：鹿熊 信一郎 監事) 指摘どおり，第 1 号議案では予算を承認するわけではないが，その一方で事業総額を明確にした方が事業計画案の検討を助けるものとする。次回以降，第 1 号議案の記載を「参考額」としてはどうか。

以上の議論がなされ，満場一致をもって原案は承認された。

上記の決議を明確にするため，この議事録を作成し，議長および議事録作成者が署名捺印する。

2017 年 11 月 25 日

一般社団法人 日本サンゴ礁学会 2017/18 年度 代議員総会

議長・議事録作成者	議長	岡地 賢	ⓐ
	議事録作成者	久保田 賢	ⓐ